

Kosovo 共和国 : サラさん (15 歳¹) 環境への意識を高めるユース活動を推進

Kosovo 共和国は、ヨーロッパ南東部のバルカン半島の内陸部に位置する国です。北東をセルビア、南東を北マケドニア、南西をアルバニア、北西をモンテネグロに囲まれています。面積は 1.9 万 km² (日本の岐阜県に相当) で、人口は約 180 万人、その 3 分の 1 は首都プリシュティナに暮らしているとされています。鉱物 (こうぶつ) 資源が豊かであり、大麦、小麦、タバコ、トウモロコシなども豊富に取れます²。

サラさんの取り組み

サラさんは環境活動家で、母、父、2 人の兄、妹とともに Kosovo で暮らしています。

サラさんは、「リスペクト・アワ・ライツ (ROR) 」という、子どもグループのメンバーで、2014 年から活動を開始し、全国に 24 人のメンバーがいます。彼女はグループ内の環境委員会に参加し、清掃活動やリサイクル活動、説明会、デモ行進など、環境意識を高めるための活動に参加しています。2022 年 9 月末、サラさんは ROR のほかのメンバーとともに、 Kosovo の首都プリシュティナで行われた気候変動問題を訴えるデモ行進に参加しました。このデモ行進では、合計 65 人の子どもたちが参加し、自分たちの声を届けました。



サラさん (Kosovo)

Kosovo での気候危機

サラさんは、 Kosovo は気候変動問題の影響を多く受けていると説明します。夏はますます暑くなり、国内のいくつかの都市では、川が干上がっています。さらに、子どもの頃、サラさんは夏になると両親と青くきれいな川のそばで遊んでいたことを覚えています。最近同じ川に行ったとき、かつてのお気に入りの場所が汚れ

¹ 2022 年時点

² 外務省、 Kosovo 共和国。

て緑がかっていました。そして冬は雪が降るのが早くなり、以前ほど寒くありません。



ユースによるデモ行進の様子

サラさんは、地球環境の悪化がこれ以上進まないよう、今すぐ対策を取らなければならないと考えています。彼女は、植木、ゴミの清掃、ゴミ箱の増設、リサイクルを提案し、サラさんの家族は家庭で日常的に使うエネルギーの使用量に気を配っています。さらに彼女は、世界のリーダーたちが手本となることで、気候変動対策にもっと大きな役割を果たすべきだと考えています。